敬愛（けいあい）

人にものを施せば、我が身の助けとなる。

日蓮（にちれん）

日蓮上人が遠近の人々へ送った書簡を集めた『食物三徳御書』に収められている、信者から布施を受けた折のお礼の手紙です。

「他人の為に施しをする事はその人の為になるだけでなく、その人を通して世の中の為になり、ひいては自分自身の為になる。」

という意味で、この後に

「たとえば、他人の為に灯をともせば、その人の前だけでなく、自分の前も明るくなるでしょう。」

と続きます。

人の痛みに共感すると言う行いは、自分自身の喜びになるのです。

他人の為に役立てる喜びを噛みしめましょう。

発行／釈迦寺 布教課　千葉県船橋市小室町3394－3　0120(445)380　☎047(457)5400

やさしくわかる「禅語」のお話

萬徳院釈迦寺
門主　竹田　明秀

禅語とは、禅の深い教えを短い語句に凝縮したもので、あるがまま感じて頂くのが一番なのですが、今回、多くの方から禅語の解説をしてほしいとのご要望を頂きましたので、私なりの解釈を載せさせていただきました。

皆様も自分なりの解釈を楽しんでいただければと想います。

合掌

「一期一会」

一期とは、人が生まれてから死ぬまでの間を言います。一会とは、ただ一度ということですから、一生に一度だけの出会いということです。これをチャンスと捉えたのならば、一度だけのチャンスを有効に使うのはこの時しかないということです。

ですから、そのチャンスを逃がさないように、一生に一度だけの出会いを悔いなく過ごさなければなりません。またの日があると思ってはいけないのです。その時に出来る最善のことをしなさいということです。

お釈迦様が説いた法句経の中にも、「いま生命あるは有難く、世に佛あるは難く、佛の教えを聞くは有難し。」とあります。有難いとは、有ること自体が難しいということ、なかなか有りそうで無い事を言います。つまり、仏様の言葉を聴くときも、一期一会と思い大切に聴かないといけないのです。

「忘己利他」

このお言葉は、天台宗の開祖伝教大師最澄様のお言葉です。

「もう懲りた」と言っているようで、思わず笑ってしまいますが、己を忘れ他人に利益（功徳）を施すという、すばらしい御心を表わします。

今回の震災でも多くの方々が寄付を行ったり、ボランティア活動に出かけたりしました。みなさんも、テレビなどでその光景を見て心が温まったことでしょう。

しかし、これらの行為も、見返りを求める行為では偽善になってしまいます。無我の心で施しを行うことこそ大切なのです。

己を忘れること、出来そうで出来ない一番難しいことですよね。

ひとりごと

八十八年前、大正十二年九月一日に関東大震災が起こった、その時大きく変わった事は、女性の服飾だと言う。和装から洋装に、それ以前から女性の洋装を説く運動はあったらしいが、関東大震災を機に一気に広まったとある。それは和装服では動きにくく、袖や裾に火が付いて多くの人が焼け死んだ事にある。洋服は着やすくて涼しく、裾がパッと開いて動きがスムーズであると。そして何より、手軽で安価な事が一般化して行った要因だと……以後女性が下着を付けるようになった事は、当時としては一大革命ではなかったろうか、今度の東日本大震災で何が大きく変わるのだろうか……。

釈迦寺稲毛別院

仏教・こころの会

布教部

萬徳院釈迦寺　稲毛別院　では、毎月一回「**仏教・こころの会**」を開催しています。悩み多い現代をより良く生きるために「仏教の智慧」をやさしく学ぶ勉強会です。

- 「目に見えないものを信じなくなった現代人の不幸！
- 人間の寿命は誰にも分からない！
- 私たちは、何かに生かされている！
- 死ぬまで全力疾走するのが人間！でも反省できるのが人間の良さ！
- 人生は、一生努力！　ダメだと思って諦めちゃいけない！

智慧（ちえ）とは正しい判断力のこと、適切に考える力を学ぶ！

「優しい伝統仏教の法話会」として、苦しみ、悩み多い今、「仏教」にこころの支えを求める人々の学びの広場として開催しています。

仏教は、単なる迷信ではありません。「仏教・こころの会」では、釈迦寺僧侶による法話、仏教教本の読み解きや瞑想対話交流会によって、優しく理論的で、実践的なこころの科学として仏教を捉え、たのしい学びの場になっています。毎回50名程度の人々が参加しています。

次回の開催日にぜひご参加をお待ち致しております。　合掌

法話中の釈迦寺関東本院　小林住職

8月19日開催　法話を拝聴する参加者

「仏教・こころの会」開催案内

期　日　平成23年10月26日(水)
11月9日(水)
午後1時開場、午後1時30開演

場　所　萬徳院釈迦寺　稲毛別院
千葉市稲毛区稲毛東4-12-2
〒0120・787・800
☎043・441・5000

参加者　どなたでもご自由に参加できます。

参加費　無　料

主　催　萬徳院　釈迦寺
船橋市小室町3394-3
〒0120・445・380
☎047・457・5400

読者の広場　それが知りたい仏事の色々

◎仏事その八

『法事とはなにか』

仏教は仏陀（ブッダ＝覚った方、目覚めた方）であるお釈迦さまが説かれた教えの意味です。仏教で行われる法事とは、その教え（これを「法＝インドの言葉でダンマまたはダルマ」と言います）を、僧侶がお釈迦さまに代わって参列者に説く「事」を意味します。

実際、法事では僧侶によりお経が唱えられます。お経は、お釈迦さまの教えを収録したものです。これを聞いて、その内容を考え、教えの通り実践すると大きな功徳（くどく＝よいこと）を生みます。通常はそれを行った方のみにその功徳があるのですが、自分だけで独り占めするのではなく、ご供養を受ける故人様をはじめ、生きとし生ける者たちとともに振り向け、分かち合いあいます。これを功徳の向きを他者に向けるので「**回向（えこう）する**」と言います。

ですから、法事の時にはまずお経を聞くことが肝心なのです。現在では漢訳されたお経をそのまま読むので、何を言っているかわからないかもしれませんが、ともかく聞くことに専念します。ですから、法事中におしゃべりするのは、供養を邪魔していることになります。退屈するとは思いますが、そのときは「故人さまが安らかであるように」と念じましょう。その後の僧侶の法話や説教がお経の中身の解説になります。

わずか一時間足らずですし、せっかく参列するのですから、故人様のためにも心を励まして法事に集中いたしましょう。

『星祭り大法要』
平成二十三年十二月八日(木)

星祭りは、災いや不幸を除くためにそれぞれの当年星（とうねんじょう）と本命星（ほんみょうじょう）を祈願するものです。星供養（ほしくよう）とも申します。

みなさまの一年間の幸福を祈り、来年がより良い年でありますように心より祈願させて頂きます。

関東本院（小室）、稲毛別院（稲毛）の二ヶ寺にて同日開催致します。小室、稲毛ともに20時より。

詳しくは、別紙星祭りのご案内をご覧ください。

■お知らせ■

●お釈迦さまの教えを分かりやすくまとめた
「仏教の教え　八大基本」
を別紙にて同封致します。
是非ご覧下さいませ。

●『修正会（しゅしょうえ）』大法要
平成24年元旦　10時より

お寺で学ぼう

今年も夏休み恒例の（お寺で学ぼう・お坊さん1泊体験）が7月26・27日の1泊2日の日程で、小室に於いて行われました。

〝手を合わす　感謝の心〟

今年は（ちびっ子大法要）を中心に、夕食は精進カレーを食べ、将来の夢を語る（絵馬作り）と祈願の（護摩札書き）を行いました。早朝の散歩は、お護摩の参加です。閉会式の中では、ちびっ子達と僧侶と一緒の大法要をする事が出来ました。保護者の皆様有難うございました。

月例行事のご案内

◎月例法要（ご供養お布施五千円）

故人様、ご先祖様追善のご法要と導師による法話がございます。

●**10月16日(日)**　●**11月20日(日)**
●**12月18日(日)**
小室大本堂　午後2時より
●**10月9日(日)**　●**11月13日(日)**
●**12月11日(日)**
稲毛大本堂　午後2時より

坐禅会・写経会のご案内

小室・稲毛同日開催

●**10月18日(火)**　●**11月8日(火)**
●**12月20日(火)**

◎坐禅会（参加費　無料）

●午前8時より

～日々の雑踏から離れ
無音の中に安らぎを求める～

★イスを使った「らくらく坐禅」もあります。

◎写経会（納経代　お一人様千円）

●午前9時より

～仏様の教えを全身でいただく～

★お気軽にご参加ください。

★写仏のコースもございます。

釈迦寺霊園　船橋中央

釈迦寺霊園が大人気

格式のある名門寺院の境内墓地釈迦寺霊園　船橋中央がいよいよ仮予約・仮墓所選定を開始いたしました。ご見学の方々が連日たくさんお越しいただいております。左記のとおり一般販売されます前ですとご希望の墓所をご予約決定できます。

人気の理由

一、市営霊園などより分譲価格（永代供養料）が半額の40万円よりご購入できます。
二、寺院が運営する（永遠に継続します）境内墓地です。
三、管理・設備の行き届いた現代寺院であることです。
四、僧侶が毎日、読経供養をあげていることなどです。

皆様お誘い合わせのうえお早めにお越しくださいませ。

開園オープン会を開催

11月
11日(金)・12日(土)・13日(日)

どなたでもお気軽にお越しください。記念品・軽食をご用意してお待ちしております。
詳しくはフリーダイヤル
0120・646・100まで
お問合せ下さいませ。